

Japan Flower Selections PRESS

Garden Plant Division2025



ジャパンフラワーセレクション
ガーデニング部門2025
入賞・特別賞受賞品種のご紹介

ガーデニング部門
Spring
Summer
Autumn



ガーデニング部門の入賞・特別賞が決定しました。



ジャパンフラワーセレクション事務局
千葉県柏市柏の葉6-2-1
千葉大学環境健康フィールド科学センター内
柏の葉花卉園芸学研究室

TEL・FAX : 04-7137-8172
メール : jfs@jf-selections.net
<http://www.jf-selections.net/>



Japan Flower Selections Garden Plant Division

全国規模の花き新品種コンテスト「ジャパンフラワーセレクション（JFS）」のガーデニング部門では、2025年度は花壇やコンテナ等で楽しむことができる品種を選定する審査・観察会を4回実施しました。審査・観察会は、千葉大学環境健康フィールド科学センター（千葉県柏市：千葉大学柏の葉キャンパス）にあるJFSトライアル花壇において実施しました。

千葉大学環境健康フィールド科学センター JFSガーデニング部門審査圃場（露地花壇・屋根付き施設）の様子
JFS Trial Garden & Green House at Center for Environment, Health and Field Sciences, Chiba University.



Field Examination 審査会実施概要

■審査会 : ①2025年7月8日 ②8月12日 ③9月29日 ④11月17日

■植栽・審査会場：千葉大学 環境健康フィールド科学センター（千葉県柏市）

Judges 審査員

国内の花き業界を代表する学識者、ガーデンデザイナー、花の市場関係者などが、公正な視点で専門的に審査を行いました。

部門長

山本岳史 Takeshi Yamamoto

豊明花き(株) 取締役

柳野良明 Yoshiaki Nagino

(公社) 都市緑化機構
専務理事

尾崎明弘 Akihiro Ozaki

(株)オザキフラワーパーク
代表取締役

村上智弘 Tomohiro Murakami

(株)フラワーオークションジャパン
鉢物本部 販売部 部長

杉井志織 Shiori Sugii

はなぐみ 代表

山口まり Mari Yamaguchi

(一社) 日本ハンギングバスケット協会 理事



なお、これら入賞した品種の中から、総合的に優秀な品種に与えられるベスト・フラー（優秀賞）並びに新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを持つ品種に与えられる特別賞の受賞品種も決定いたしました。ベスト・フラー（優秀賞）は、この年の最優秀賞である「フラー・オブ・ザ・イヤー」の候補となります。



JFS Trial Garden for group planting

◆露地花壇 群植した時のパフォーマンスを確認 (群植の例)

2022/5/26
(定植後1日)



2022/7/21
(定植後57日)



2022/9/1
(定植後99日)



JFS Trial Green House for single planting

◆屋根付き施設 1株のパフォーマンスを確認、8~9号鉢に定植して観察 (単株の例)

2021/11/11
(定植後6日)



2022/5/10
(定植後186日)



2022/6/20
(定植後227日)



JFSガーデニング部門の審査は、数か月にわたりJFSの審査花壇（千葉大学環境健康フィールド科学センター）にて約3週間ごとに画像による栽培記録をつけ、生育経過を観察した資料と現地での審査で行います。

栽培方法は？・・・植栽計画や維持管理は千葉大学環境健康フィールド科学センターの監修で行われています。

露地花壇と屋根付きの施設の中で行い、それぞれの環境下での生育を観察しています。

メンテナンスは一般家庭における管理方法を想定したメンテナンスを行います。

審査方法は？・・・栽培試験では定期的に写真撮影と計測による栽培記録シートを作成。栽培記録シートも参考にしながら、植栽場所で現地審査（採点評価・協議）を行います。

**第74回 関東東海花の展覧会 1月30日(金)～31日(土)で
ジャパンフラワーセレクションの過去の入賞品種など、自社のお花のPRをしませんか？**

**ジャパンフラワーセレクション過去の入賞品種、
特別賞受賞 品種特別展示 出品募集のご案内**

2026年1月30日(金)～2月1日(日)開催の「第74回 関東東海花の展覧会」で、ジャパンフラワーセレクションの受賞品種の特別展示を行います (JFS受賞品種展示は、1月30日、31日の2日間)。

2025年の受賞品種だけでなく、過去の受賞品種、またその関連品種、シリーズ品種など、消費者のみなさまが興味を持ってご覧になれるような場所としたいと思います。ご出品のご協力を宜しくお願い致します。

詳しくは、巻末のご案内をご覧ください。

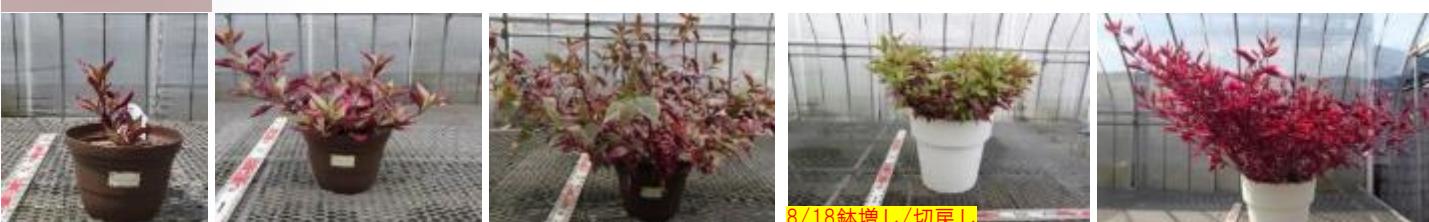
ベスト・フラワー（優秀賞）【ガーデンパフォーマンス/ニュースタイル特別賞 同時受賞】**アルテルナンテラ「ピンクシェード」**

(株)ハクサン



受賞者 : (株)ハクサン (愛知県)
 育成者 : Koeder Innovation
 育成者権者 : (株)ハクサン
 観察期間 : 2025年4月27日～11月17日
 ホームページ : <https://hakusan1.co.jp/>
 審査講評 : 極めて旺盛に生育するアルテルナンテラ。出品申請書では草丈・株幅60～80cmと記載されていましたが、審査ではそれを上回る伸びを見せました。株元まで葉が保たれるため草姿が美しく、暑さや直射日光にも強いことから、公園や大規模花壇での活用に特に有望です。

葉色は高温期にグリーンが多くなり季節ごとの変化をたのしめますが、9月以降は赤みが増してさらに迫力ある姿に。株元の枯れ上がりもなく、観察期間を通して美しい状態を保っていた点も評価されました。一方で非常に大きく育つため、鉢植えでは鉢増しや切り戻し、花壇では植栽場所の選定を消費者に案内する必要があります。春から晚秋まで長く楽しめるカラーリーフとして高評価を得て、ベスト・フラワー（優秀賞）、ガーデンパフォーマンス特別賞、ニュースタイル特別賞を同時受賞しました。

屋根付き施設**露地花壇**

ベスト・フラワー（優秀賞） [ブリーディング/カラークリエイト特別賞 同時受賞]**ユーフォルビア「ピンクフロスト」**

(株)ハクサン



受賞者 : (株)ハクサン (愛知県)
 育成者 : Psenner
 育成者権者 : (株)ハクサン
 観察期間 : 2025年4月27日～11月17日
 ホームページ : <https://hakusan1.co.jp/>
 審査講評 : 定番の白色品種とは異なる、シックで落ち着いた色合いが魅力のユーフォルビア。生育はきわめて旺盛で強健、暑さ・乾きにも強く、春から晩秋まで連続開花し、株のまとまりも良好でした。

審査期間を通じて株元の枯れ上がりが少なく、密植でも間伸びしない点は高く評価されました。特徴であるブロンズカラーの葉とフォギーピンクの苞は、秋に差し掛かった9月下旬頃からより明瞭に観察されるようになりました。一方で、離れると花色がやや目立ちにくくという指摘があり、花壇では植栽位置の工夫が求められます。新色としての魅力は特に鉢植え・コンテナ等近くに置いて楽しむ形で発揮されるでしょう。以上の点が評価され、ベスト・フラワー（優秀賞）、ブリーディング特別賞、カラークリエイト特別賞を受賞しました。

**屋根付き施設****露地花壇**

ベスト・フラワー（優秀賞） [ニューバリュー特別賞 同時受賞]**セダム「モコランド サクラアフロ」**

(株)ハクサン



受賞者 : (株)ハクサン (愛知県)
 育成者 : Walters Gardens
 育成者権者 : (株)ハクサン
 観察期間 : 2025年4月27日～11月17日
 ホームページ : <https://hakusan1.co.jp/>
 審査講評 : ドーム状に自然とこんもりまとまる草姿が魅力のハイブリッドセダム。生育は非常に旺盛で、暑さや乾燥に強く、耐寒性は-40℃と日本全国で栽培できる強健さを備えています。

ピンク色に開花したのは10月頃と時間はかかったが、それまでの緑色の質感あるつぼみの状態でも十分に楽しめ、また花が終わっても“終わった感”が目立たずアンティークな色あいに老けていくという、観賞期間が長いことも評価されました。

ロックガーデンや屋上緑化、コンテナのアクセントとして幅広い利用が期待できます。審査は、4月から11月まででしたが、ローメンテナンスで使いやすい宿根草としてお勧めできます。ベスト・フラワー（優秀賞）とニューバリュー特別賞を同時受賞。

**屋根付き施設**

▲2025/5/1
(定植後4日)

▲2025/6/12
(定植後46日)

▲2025/7/22
(定植後86日)

▲2025/9/1
(定植後127日)

▲2025/10/14
(定植後170日)

▲2025/11/4
(定植後191日)

露地花壇

▲2025/5/1
(定植後4日)

▲2025/7/1
(定植後65日)

▲2025/9/1
(定植後127日)

▲2025/10/14
(定植後170日)

ガーデニング部門

ベスト・フラワー（優秀賞） [フォトジェニック特別賞 同時受賞]

セロシア「ミスティックシェード」

(株)ハクサン



受賞者 : (株)ハクサン (愛知県)
育成者 : Van Zanten Breeding B. V.
育成者権者 : (株)ハクサン
観察期間 : 2025年5月12日～11月17日
ホームページ : <https://hakusan1.co.jp/>
審査講評 : 鮮やかな花色と深いパープルの葉が印象的なセロシア。露地では盛夏にやや花が休んだが、葉だけ見ても美しかった。また9月を迎えてからの花の勢いは特筆に値します。

脇芽までも花芽となる旺盛な開花性により、秋まで長く観賞できる点も大きな魅力です。一方で、生育が進むにつれ株が暴れやすく、倒伏や草姿の乱れが発生するという指摘もあり、植栽位置や仕立て方によって見え方に差が出る点には注意が必要という意見もありました。とはいえ、秋の景色に映える独特の深みのある葉色と鮮やかな花色は写真映えも抜群で、特にガーデンでは存在感を發揮します。ベスト・フラワー（優秀賞）とフォトジェニック特別賞の受賞にふさわしい品種です。

屋根付き施設



▲2025/5/15
(定植後3日)

▲2025/7/1
(定植後50日)

▲2025/8/12
(定植後92日)

▲2025/9/22
(定植後148日)

▲2025/11/4
(定植後191日)

露地花壇



▲2025/5/15
(定植後3日)

▲2025/7/1
(定植後50日)

▲2025/9/1
(定植後127日)

▲2025/10/14
(定植後170日)

ベスト・フラワー（優秀賞）【ニュースタイル/ブリーディング/ニューバリュー特別賞 同時受賞】

スカエボラ「スターティアラ ピンク」



8/12撮影



屋根付き施設

▲2025/5/15
(定植後3日)▲2025/6/12
(定植後31日)▲2025/7/1
(定植後50日)▲2025/8/12
(定植後92日)▲2025/9/22
(定植後133日)

サントリーフラワーズ(株)

受賞者 : サントリーフラワーズ(株) (東京都)
 ホームページ : <https://www.suntory.co.jp/flower/>
 育成者 : Andrew Bernuetz
 育成者権者 : サントリーフラワーズ(株)
 観察期間 : 2025年5月12日～11月17日
 審査講評 : 星型の花弁が目を惹く、新しいタイプのスカエボラ。従来の扇形の花型より、満開時には花いっぱいに見えます。また、2017年にフラワー・オブ・ザ・イヤーを受賞したほふく性が強い「サンク・エール」とは異なり、こんもりとまとまるマウンド状の草姿が特徴。審査期間を通して株姿が崩れず、花つきも安定していました。

花の咲き終わりも目立たず、いつでもきれいをキープしている点も大きな評価ポイント。コンパクト、ローメンテナンスで扱いやすく、ガーデンはもちろん、寄せ植えやハンギングなどへの活用にも適し、使い勝手の良さが際立ちます。

連続開花性や、つやのある葉色も好印象で、新規性・実用性ともに高い完成度を示し、消費者が手に取って失敗しにくいお勧めできる品種としてベスト・フラワー（優秀賞）をはじめ多数の特別賞を受賞しました。

露地花壇

▲2025/5/15
(定植後3日)▲2025/7/1
(定植後50日)▲2025/8/12
(定植後92日)▲2025/9/22
(定植後133日)▲2025/11/4
(定植後176日)

ベスト・フラワー（優秀賞）

ニューギニアインパチエンス「ハイブリッドインパチエンス ソーラースケープ ホワイトパール」
(株)エム・アンド・ビー・フローラ



8/12撮影



7/22撮影



7/31撮影

受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
 (山梨県)

育成者：Ball Horticultural Company

育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ

観察期間：2025年6月1日～9月29日

ホームページ：<http://www.mbfloara.co.jp/>

審査講評：耐暑性と連続開花性を備えたハイブリッドインパチエンス。白花と緑葉のコントラストが爽やかで、赤味を帯びた茎との対比も美しくみられました。

生育は早く、花つき・花保ちとも優れ、枝数が多く大株になるが、株姿が乱れず、花の咲き終わりが目立たない点も評価されました。申請書通り、耐暑性と連続開花性が確認され、審査期間を通して非常に安定したパフォーマンスが観察できました。強健で用途も広いことから、花壇・鉢植えの双方で安心して勧められる品種として、ベスト・フラワー（優秀賞）を受賞しました。

屋根付き施設



▲2025/6/12
 (定植後11日)

▲2025/7/22
 (定植後51日)

▲2025/8/12
 (定植後72日)

▲2025/9/1
 (定植後92日)

▲2025/9/22
 (定植後113日)

露地花壇



▲2025/6/12
 (定植後11日)

▲2025/7/1
 (定植後30日)

▲2025/8/12
 (定植後72日)

▲2025/9/22
 (定植後113日)

ベスト・フラワー（優秀賞） [コンテナ・ガーデンパフォーマンス/ライフデザイン特別賞 同時受賞]

ニューギニアインパチェンス「ハイブリッドインパチェンス ソーラースケープXL サーモングロー」
(株)エム・アンド・ビー・フローラ



8/12撮影



7/22撮影



7/31撮影

受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
 (山梨県)

育成者：Ball Horticultural Company

育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ

観察期間：2025年6月1日～9月29日

ホームページ：<http://www.mbfloara.co.jp/>

審査講評：「ハイブリッドインパチェンス ソーラースケープ XL サーモングロー」は、通常のソーラースケープより草丈が20%程度大きくなる迫力ある草姿が魅力。

株張りが良くバランスの整った草姿に加え、花が大きく、サーモン系の華やかな花色が季節とともに微妙に変化し、夏の花壇でも強い存在感があります。花つき・開花持続性ともに優れていることも確認されました。咲き終わりが目立たない花のため、いつ見ても美しく、株も縦横のボリュームがバランス良く保たれます。ガーデンだけでなくコンテナ植えでも申し分なく、ベスト・フラワー（優秀賞）、コンテナガーデンパフォーマンス特別賞、ライフデザイン特別賞を受賞しました。

屋根付き施設



▲2025/6/12
 (定植後11日)

▲2025/7/1
 (定植後30日)

▲2025/7/22
 (定植後51日)

▲2025/9/1
 (定植後92日)

▲2025/9/22
 (定植後113日)

露地花壇



▲2025/6/12
 (定植後11日)

▲2025/7/1
 (定植後30日)

▲2025/8/12
 (定植後72日)

▲2025/9/22
 (定植後113日)

ベスト・フラワー（優秀賞） [ガーデンパフォーマンス/ライフデザイン特別賞 同時受賞]

アゲラタム「モナークマジック」



(株)エム・アンド・ビー・フローラ

受賞者 : (株)エム・アンド・ビー・フローラ
(山梨県)

育成者 : Ball Horticultural Company

育成者権者 : (株)エム・アンド・ビー・フローラ

観察期間 : 2025年6月1日～9月29日

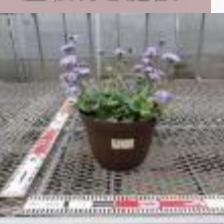
ホームページ : <http://www.mbf flora.co.jp/>

審査講評 : 一輪の開花期間が長く花老けが目立たないという特長のアゲラタム。花が黒くなりにくく花がら摘みの手間も不要、次々と花が上がる楽しい品種です。

常に涼しげで美しい状態を維持できることが確認され、ベスト・フラワー（優秀賞）、ガーデンパフォーマンス特別賞、ライフデザイン特別賞を受賞しました。

厚みのある照り葉と柔らかな花色、花茎の長短が生む立体感も自然風で高評価。株張りが非常に良いためランドスケープにもお勧めです。草丈もあり自然風な雰囲気なので、切花にして楽しんだり、摘み取り花壇などとしても楽しむことが出来そうです。従来の概念を変える新しいタイプのアゲラタムです。

屋根付き施設



▲2025/6/12
(定植後11日)

▲2025/7/1
(定植後30日)

▲2025/7/22
(定植後51日)

▲2025/8/12
(定植後72日)

▲2025/9/22
(定植後113日)

露地花壇



▲2025/6/12
(定植後11日)

▲2025/7/1
(定植後30日)

▲2025/7/22
(定植後51日)

▲2025/8/12
(定植後72日)

ベスト・フラワー（優秀賞） [ブリーディング/ニューバリュー特別賞 同時受賞]**ペチュニア「YES！レッド」**

(株)エム・アンド・ビー・フローラ



受賞者 : (株)エム・アンド・ビー・フローラ
(山梨県)

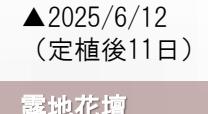
育成者 : (株)ミヨシ

育成者権者 : (株)エム・アンド・ビー・フローラ
観察期間 : 2025年6月1日～9月29日

ホームページ : <http://www.mbf flora.co.jp/>

審査講評 : 日本の夏の過酷な環境ストレスにも負けず、夏バテすることなく花を咲かせ続けるペチュニア「Yes! シリーズ」の赤色品種。耐暑性と真夏の連続開花性に優れた強健品種として評価された過去の出品品種と比較しても遜色なく、露地花壇、鉢植えともに常に見栄え良く仕上がりました。

濃赤の花は盛夏でも褪色せず、盛夏に多少花数は減ったものの、観賞に値する範囲。赤色系で弱点とされがちな株張りの弱さも感じることなく、また株の中心部がドーナツ状に抜けることもなく、株姿は崩れませんでした。園芸初心者でも育てやすいペチュニアとして、ベスト・フラワー（優秀賞）、ブリーディング特別賞、ニューバリュー特別賞を受賞しました。



コンテナパフォーマンス特別賞

ニューギニアインパチエンス「サンパティオ ブラッシュピンク」(株)サカタのタネ



受賞者：(株)サカタのタネ（神奈川県）
 育成者権者：(株)サカタのタネ
 観察期間：2025年5月16日～11月17日
 ホームページ：<https://www.Sakata-seed.co.jp>
 審査講評：「サンパティオ ブラッシュピンク」は、約30cmのコンパクトな草姿が特徴のニューギニアインパチエンス。淡いピンクからホワイトへ移り変わる繊細なグラデーションの花色です。

デリケートな花色変化が美しい一方で、花の咲き終わりがやや目立つ、花色がもう少し濃いと花色変化がわかりやすいといった指摘もありました。

盛夏に花数が減りましたが、9月中旬ごろから復活し始め、10月いっぱいは花を楽しめることができました。

限られたスペースや鉢植えで高いパフォーマンスを発揮する、小型ながら存在感のある品種です。近くに置いて楽しむことが特におすすめです。

コンテナパフォーマンス特別賞を受賞しました。



屋根付き施設



▲2025/5/22
(定植後6日)

▲2025/7/1
(定植後46日)

▲2025/8/12
(定植後88日)

▲2025/9/22
(定植後129日)

▲2025/11/4
(定植後172日)

露地花壇



▲2025/5/22
(定植後11日)

▲2025/7/1
(定植後46日)

▲2025/8/12
(定植後88日)

▲2025/10/14
(定植後113日)

▲2025/11/4
(定植後172日)

ガーデニング部門

ニューススタイル特別賞、ブリーディング特別賞、ニューバリュー特別賞、 ガーデンパフォーマンス特別賞

スカエボラ「スターティアラ ブルー」



受賞者：サントリーフラワーズ(株)（東京都）
育成者：Andrew Bernuetz
育成者権者：サントリーフラワーズ(株)
観察期間：2025年5月12日～11月17日
ホームページ：<https://www.suntory.co.jp/flower/>
審査講評：星型の花弁をもつ新しいスカエボラ。ブルー系は涼し気な印象です。こんもりとしたマウンド状の草姿は終始乱れにくく、盛夏でも花が休まず咲き続ける高い連續開花性が評価されました。ピンクより花数がやや控えめとの指摘はあったものの、花の咲き終わりが目立たず、消費者の手間がほとんど不要な点は同じく、大きな強みです。

特にガーデンでのパフォーマンスが特に評価が高くガーデンパフォーマンス特別賞を受賞。寄せ植えやハンギングなどへの活用にも適し、用途の幅広さもピンク同様です。

観察期間約7か月もの間、常に美しく、新規性だけでなく・耐候性・実用性の高さが総合的に認められました。ニューススタイル、ブリーディング、ニューバリューも受賞。

屋根付き施設



▲2025/5/15
(定植後3日)



▲2025/6/12
(定植後31日)



▲2025/7/1
(定植後50日)



▲2025/8/12
(定植後92日)



▲2025/9/1
(定植後112日)



▲2025/11/4
(定植後176日)

露地花壇



▲2025/5/15
(定植後3日)



▲2025/7/1
(定植後50日)



▲2025/9/1
(定植後112日)



▲2025/11/4
(定植後176日)

サントリーフラワーズ(株)

ニューススタイル特別賞、ブリーディング特別賞、ニューバリュー特別賞 スカエボラ「スターティアラ ホワイト」

サントリーフラワーズ(株)



受賞者：サントリーフラワーズ(株)（東京都）
 育成者：Andrew Bernuetz
 育成者権者：サントリーフラワーズ(株)
 観察期間：2025年5月12日～11月17日
 ホームページ：<https://www.suntory.co.jp/flower/>
 審査講評：星型の花弁をもつ新しいスカエボラ「スターティアラ」シリーズのホワイト。シリーズ共通のマウンド状のまとまり良い草姿をもつつ、本品種は多品種よりやや草丈が伸びる特徴があります。

鉢植えは途中枯死が見られましたが、鉢物としての仕上がりはピンク、ブルーと同様非常に早く、5月中旬の植え付けから7月には満開となることが確認できました。

清涼感のある白色の花は、開花後も変色や傷みは目立たず、露地花壇においても7月～9月初旬の猛暑期にも白花が美しく咲き続けた点は特筆すべき点です。

新規性・耐暑性・実用性も高く、ニューススタイル、ブリーディング、ニューバリュー特別賞の3賞を受賞しました。

屋根付き施設



露地花壇



カラークリエイト特別賞

セロシア「フラートサーモン」

(株)ハクサン



受賞者 : (株)ハクサン (愛知県)
 育成者 : Van Zanten Breeding B. V.
 育成者権者 : (株)ハクサン
 観察期間 : 2025年7月11日～11月17日
 ホームページ : <https://hakusan1.co.jp/>
 審査講評 : ふわふわとした質感とサーモンカラーの花色が強い個性を放つセロシア。

サーモンの色味ができるまで少し時間があり、10月に入ってから、その魅力的な色が一気に出現してきました。特に露地花壇で観察された花色は、華やかで魅力的。ガーデンのアクセントとして存在感を発揮します。

一方で、生育や草姿には個体差が見られ、「倒伏しやすい」「株のまとまりにはらつきがある」「新梢の出方が揃わない」などの指摘がありました。色の美しさと独自の質感は大きな魅力ですが、景観素材としては植栽位置の工夫を提案するとよいという意見がありました。

花色に対する評価は高く、カラークリエイト特別賞を受賞しました。

屋根付き施設



▲2025/7/11
(定植後0日)

▲2025/8/12
(定植後32日)

▲2025/9/22
(定植後73日)

▲2025/10/14
(定植後95日)

▲2025/11/4
(定植後116日)

露地花壇



▲2025/7/11
(定植後0日)



▲2025/8/12
(定植後32日)



▲2025/9/22
(定植後73日)



▲2025/10/14
(定植後95日)

フォトジェニック特別賞、モーストジョイ特別賞

キク「ガーデンマム ヴェルディッシュモ」

(株)ハクサン



受賞者 : (株)ハクサン (愛知県)
育成者 : Van Zanten Breeding B. V.
育成者権者 : (株)ハクサン
観察期間 : 2025年7月18日～11月17日
ホームページ : <https://hakusan1.co.jp/>
審査講評 : グリーンを帯びたイエローのポンポン咲きが印象に残る品種、ヴェルディッシュモ。

生育はきわめて旺盛で、分枝性が高く、株張り良くコンパクトにまとまる点は審査員から高い評価を得ました。

一方で、開花までに時間を要し、秋遅くにピークを迎える点は特性として消費者等への周知や理解が必要です。その分、小輪花が株一面に咲き揃った姿にはインパクトがあり、消費者の期待を裏切らないものがあります。切花的な使い方をはじめ、ガーデンや寄せ植えのアクセントとしても楽しめる魅力があります。

独特の色彩とポップで写真映えする華やかさが評価され、フォトジェニック特別賞・モーストジョイ特別賞を受賞しました。

屋根付き施設



▲2025/7/22
(定植後4日)

▲2025/8/12
(定植後25日)

▲2025/9/22
(定植後66日)

▲2025/10/14
(定植後90日)

▲2025/11/4
(定植後111日)

露地花壇



▲2025/7/22
(定植後4日)

▲2025/9/1
(定植後45日)

▲2025/10/14
(定植後90日)

▲2025/11/4
(定植後111日)

ブリーディング特別賞、ガーデンパフォーマンス特別賞

キンギョソウ「スナップインブラック ホットピンク！」(株)エム・アンド・ビー・フローラ



11/4撮影



7/22撮影



7/31撮影

受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
(山梨県)

育成者：PMA

育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ

観察期間：2025年6月1日～11月17日

ホームページ：<http://www.mbfloara.co.jp/>

審査講評：銅葉の美しさと耐暑性を備えたキンギョソウ「スナップインブラックホットピンク」。

審査では、酷暑のなかでも株の傷みが少なく、分枝性や草姿の良さ、葉色の美しさが高く評価されています。また、ローメンテナンスで扱いやすいという評価がありました。一方で、夏場は花上がりが控えめでボリューム不足が指摘され、秋以降に本領を発揮するタイプとの意見が多く見られました。

夏場は銅葉のカラーリーフとして、秋は花も楽しめる花材として活用ができる品種です。

一般的なキンギョソウとは異なる特徴もあり、審査期終了後の様子も気になる非常に興味深い品種。ブリーディング特別賞およびガーデンパフォーマンス特別賞を受賞しました。

屋根付き施設



▲2025/6/12
(定植後11日)

▲2025/7/1
(定植後30日)

▲2025/7/22
(定植後51日)

▲2025/8/12
(定植後72日)

▲2025/9/22
(定植後113日)

露地花壇



▲2025/6/12
(定植後11日)

▲2025/7/22
(定植後51日)

▲2025/9/1
(定植後92日)

▲2025/11/4
(定植後156日)

カラークリエイト特別賞、ガーデンパフォーマンス特別賞

アンゲロニア「ガーディアンエンジェル ベリースパークラー」(株)エム・アンド・ビー・フローラ



受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
(山梨県)

育成者：Ball Horticultural Company

育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ

観察期間：2025年6月1日～9月29日

ホームページ：<http://www.mbfloara.co.jp/>

審査講評：巨大輪のバイカラーの花が存在感を放つアンゲロニア。高温多湿にも耐える強健さを備えています。

審査では、主役級の大輪花の迫力と咲き続ける安定性、さらに独自性の高い花色も評価されました。ピンクと紫のバイカラーは近くで見ないとわかりにくいですが、遠目にも少しくすんだピンクの花がたわわに咲き誇る姿にはインパクトがあり、カラークリエイト特別賞を受賞しました。

草姿がやや乱れやすい点が指摘されましたが、自然風の庭にもマッチし、使い方によって魅力を発揮するでしょう。ランドスケープで強い存在感を発揮する品種としてガーデンパフォーマンス特別賞も受賞しました。

屋根付き施設



▲2025/6/12
(定植後11日)

▲2025/7/1
(定植後30日)

▲2025/7/22
(定植後51日)

▲2025/9/1
(定植後92日)

▲2025/9/22
(定植後113日)

露地花壇



▲2025/6/12
(定植後11日)

▲2025/7/22
(定植後51日)

▲2025/9/1
(定植後92日)

▲2025/9/22
(定植後113日)

ジャパンフラワーセレクションの賞体系について



1. フラワー・オブ・ザ・イヤー(最優秀賞)

各部門の中で最も優れた1品種に授与します。

各審査会での「ベスト・フラワー(優秀賞)」(10点満点の8.0点以上)から、得点、授賞に対する評価、ガーデニング部門は栽培状況データなども踏まえて、11月下旬の中央審査委員会で決定します。

2. ベスト・フラワー(優秀賞)

各部門で、姿、形、デザインに加えて栽培のしやすさなど全体的にバランスのよい優れた品種に授与されます。

各審査会でのジャパンフラワーセレクション入賞品種の中から10点満点の8.0点以上と採点された品種です。

3. ジャパンフラワーセレクション特別賞

各審査会での受賞品種(10点満点の7.0点以上)の中から、花の業界にとって意義があり、

新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを与えた品種に授与されます。

なお、以下の賞が設定されていますが、該当する品種がない年は、授与されません。

「モーストジョイ特別賞」

気分をデザインする品種。それがあるだけで、喜びに満ち、楽しい気分などをもたらしてくれる品種に授与されます。

「ニューバリュー特別賞」

花の新たな価値観をデザインする品種。今までにない新しい価値観を感じさせ、フラワーデザイン、ガーデンデザインの多様性や可能性を広げて花文化の未来に貢献する品種に授与されます。

「ニュースタイル特別賞」

斬新で優れた形状をもつ品種です。これまでにない新たな花型、葉型、草姿等を持ち、業界にインパクトを与えた品種に授与されます。

「フレグランス特別賞」

芳香がうるわしく、香りのデザインが優れた品種に授与されます。

「ブリーディング特別賞」

育種技術により花の芸術性・商品性を高めた品種です。これまでにない価値観や形質を生み出し、育種の開発コンセプト、育種技術力が優秀で、デザイン・芸術性、商品性の高い品種に授与されます。

「カラークリエイト特別賞」

花の色の流行を先取りした品種です。人の色彩の感性に訴えて、新たな花色の創造を期待させる品種に授与されます。

「グッドパフォーマンス特別賞」

(切花部門・鉢物部門)
これまでに比べて、生産者にとっても消費者にとっても扱い易く、育てやすい品種に授与されます。

「ジャパンデザイン特別賞」

日本らしさをもち、日本の美意識やデザイン性を感じさせる品種に授与されます。

「ライフデザイン特別賞」

高いデザイン性と、消費者にとって扱いやすい特性を持ち、それがあるだけで日々の生活を楽しくさせ、また、生活空間を豊かにしてくれる品種に授与されます。

「コンテナパフォーマンス特別賞」

(ガーデニング部門)
コンテナとガーデンの両方のパフォーマンスに優れている場合は、「コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞」と表記します。

「モニター特別賞」

春・秋審査会での一般消費者や買參人等のモニター調査の結果、JFS受賞品種のうち各部門でトップとなった品種に授与されます。(切花部門・鉢物部門のみ)

「フォトジェニック特別賞」

写真を活用した情報発信やコミュニケーションをしたくなるような写真映えの良さを持つ品種に授与されます。

4. ジャパンフラワーセレクション入賞

各審査会で、5名以上の審査員で構成する審査団が採点した結果、

10点満点の平均点が7.0以上の品種に授与されます。入賞品種は、上記の1~3の候補となります。

ジャパンフラワーセレクションに入賞した品種は、認定登録を行うことで専用ロゴマークを利用した販売活動等が可能になります。(マークの使用期限はありません)

ロゴマークを使用することで「花業界が推奨する品種」として他との差別化を図ることができます。

JFS認定ロゴマークを利用し、入賞品種のPRにご活用ください。



ご存じですか？ジャパンフラワーセレクションのロゴマーク。

ジャパンフラワーセレクションで「入賞」に選定された品種は、「認定登録」を行うことにより、花の業界が推奨する品種として「ジャパンフラワーセレクション受賞マーク」をPRに活用することができます。ロゴマークを使用することで「花業界が推奨する品種」として他との差別化を図ることができます。



ポットに差し込むタグに受賞マークを使用。



HPなどで自社製品の紹介に。



カタログの商品紹介や店頭のPOPに使用。

受賞マークは、一般の消費者に向けたHPや店頭PRだけでなく、生産者向けのカタログや市場出荷用のカートンやスリーブにも幅広くご利用いただいています。インターネット通販の商品に表示することで、比較購入の際の動機づけにもご活用いただいています。

■ジャパンフラワーセレクションの認定登録すると、用途によって使い分けられる6種類のマークをご用意

基本的なロゴマーク 日本花き取引コード（JFコード）あり 全6パターン



* JFコード無しのロゴマークも6パターンあります。

■ジャパンフラワーセレクションの認定登録をした品種が、
フラン・オブ・ザ・イヤー(最優秀賞)になった場合は、専用
のロゴマークが使用できます。

フラン・オブ・ザ・イヤー専用ロゴ 全4パターン



■その他、ジャパンフラワーセレクションの
広報用のロゴ(全4パターン)もご利用にな
れます。



■JFS認定登録料について

認定登録には別途60,000円の認定登録料がかかります。

認定登録申請書にご記入の上、事務局までメールにてお送りください。

認定登録申請書の様式は、jfs@jf-selections.netにご請求いただくか、ホームページから様式をダウンロードしてお使いください。

お問い合わせはこちらへ

<ジャパンフラワーセレクション事務局>

TEL・FAX : 04-7137-8172

メール : jfs@jf-selections.net

ホームページ : <http://www.jf-selections.net>

ジャパンフラワーセレクション過去の 入賞品種、特別賞受賞品種 特別展示 出品募集のご案内

@
第74回
関東東海
花の展覧会

2026年1月30日(金)～2月1日(日)開催の「第74回 関東東海花の展覧会」で、(一社)日本花き卸売市場協会様のご協力を得て、ジャパンフラワーセレクションの受賞品種の特別展示を行いますのでご案内いたします。(JFS受賞品種展示は、1月30日・31日の2日間)。

2025年の受賞品種だけでなく、過去の受賞品種、またその関連品種、シリーズ品種など、消費者のみなさまが興味を持ってご覧になれるような場所としています。ご出品のご協力を宜しくお願い致します。

*関東東海花の展覧会とは…花に対する理解を深め、一層の花の消費拡大を図ることを目的として、関東東海地域の1都11県と花き関係6団体が主催する、日本で最大規模の伝統ある花の展覧会です。第74回の当番都県は「栃木県」です。

■ PR展示の対象：過去のJFS入賞品種・特別賞受賞品種とその関連品種

■ 展示場所：東京 池袋 サンシャインシティ文化会館2階 展示ホールD (入場無料)

■ PR展示申し込み締め切り：2026年1月21日（水）

*展示スペースに限りがありますので、締め切り日以前に締め切る場合があります。ご希望の方は早めにお申し込みください。

■ 展示品搬入日時：

①宅配便による搬入の場合 2026年1月29日（木）午前中 必着

②出品者による直接搬入の場合 2026年1月29日（木）14:00～16:00 必着

*この日以外は受け取ることができませんのでご注意ください。

■ PR展示期間：2026年1月30日（金）～31日（土）の2日間

■ 出品料：無料

■ 搬入先住所：〒170-8630 東京都豊島区東池袋3-1-4 文化会館2階 展示ホールD
第74回関東東海花の展覧会 ジャパンフラワーセレクションコーナー

**出品をご希望される方は、別添「受賞品種PR展示申込書 兼 花材出荷通知書」の様式にご記入の上、
メール又はFAXでお申し込みください。受領後、ジャパンフラワーセレクション事務局より搬入についてご案内いたします。**



関東東海花の展覧会（2025）の受賞品種PR展示の様子

お問い合わせ・お申し込みは ジャパンフラワーセレクション事務局まで

E-Mail mitsui.jfpc@gmail.com または jfs@jf-selections.net

〒277-0882 千葉県柏市柏の葉6-2-1千葉大学環境健康フィールド科学センター内 柏の葉花卉園芸学研究室

T E L / F A X : 04-7137-8172



ご存知ですか？このマーク。
「いい花の新基準」。
ジャパンフラワーセレクション

ジャパンフラワーセレクション受賞品種は、業界が推奨する優れた品種です。
自信をもってお客様へお勧めください。

*入賞品種は認定登録することで販売やPRにこのマークをご利用いただくことができます。



<http://www.jf-selections.net/>



ジャパンフラワーセレクション事務局
千葉県柏市柏の葉6-2-1
千葉大学環境健康フィールド科学センター内
柏の葉花卉園芸学研究室

TEL・FAX : 04-7137-8172
メール : jfs@jf-selections.net
<http://www.jf-selections.net/>